

第 1 回安曇野市消防委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | 安曇野市消防委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成26年4月28日 午後6時から午後7時15分まで |
| 3 | 会 場 | 豊科支所 コミュニティー消防センター |
| 4 | 出 席 者 | 松田政治郎委員、小穴裕司委員、宮澤一雄委員、高橋博明委員、金盛順一委員、
等々力俊男委員、丸山一雄委員、中谷正憲委員、鈴木清富委員、布山明廣委員、
高木稔委員、寺畑佳司委員 |
| 5 | 市側出席者 | 宮澤市長、白澤危機管理室長、二木係長、関主査、川口主査、臼井主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公 開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 1人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成26年6月25日 |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|---|
| 1 | 会議の概要 |
| 1 | 開会 |
| 2 | 委嘱書交付 |
| 3 | 市長あいさつ |
| 4 | 自己紹介 |
| 5 | 消防委員の任務について |
| 6 | 委員長及び職務代理者の選出 |
| 7 | 委員長あいさつ |
| 8 | 会議事項 |
| | 1) 現在までの会議内容及び決定事項の概要について |
| | 2) 今後の進め方（スケジュール等）について |
| | 3) その他 |
| 9 | 閉会 |
| 2 | 審議概要 |
| | 白澤課長：それでは、ただいまより、平成26年度第1回安曇野市消防委員会を開会します。最初に宮澤市長より委嘱書の交付を行います。 |
| | 宮澤市長より、松田委員、小穴委員、宮澤委員、高橋委員、金盛委員、等々力委員、丸山委員、中谷委員、鈴木委員、布山委員、高木委員、寺畑委員の順に委嘱書の交付を行った。ひき続き、宮澤市長あいさつ。 |
| | 宮澤市長：それぞれ委員の皆さま方には日頃大変ご多忙のなかではございますけれども、市の消防行政のためにご尽力をいただいております。これからもまたよろしくお願いを申し上げ、今までの活動に対しても御礼を申し上げさせていただきますと思います。私どもとしましても、一層の消防団員の確保、それから女性消防隊の強化を図っていかねばならない、というように考えておまして、これからご協議をいただく内容についても、消防団員の服務、あるいは待遇に関する問題、さらに消防施設の充実強化に関するいろいろな難題をうまく時代に則した、よりよい消防団組織にしていくために委員の皆さま方からのご意見ご提言を賜りたいという次第であります。 |
| | 結びにあたり、委員の皆さま方それぞれお忙しいお仕事を抱えながらということではございますけれども、ぜひ、消防団の皆さん方の活動しやすい条件づくり、そして皆さんの経験を生かしていただいて、いろいろな面でご提言をいただければと思っております。それぞれの皆さん方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げて、一言ご挨拶とさせていただきますと思います。 |

白澤課長：ありがとうございました。続きまして、本日初めての顔合わせでございますので、自己紹介をお願いしたいと思います。

松田委員から一人ずつ自己紹介をした後、白澤課長より配布した資料をもとに消防委員の任務について説明を行った。

白澤課長：続きまして、委員長及び職務代理者の選出ということで、まず委員長の選出をお願いをしたいと思っておりますが、委員の皆さまより何かご意見があればお願いをします。

丸山委員：明科の宮澤委員を推したいと思いますがよろしく申し上げます。

白澤課長：ありがとうございました。ただいま、丸山委員より、委員長は宮澤委員というお声がございましたが、いかがでしょうか。

(拍手)

白澤課長：ありがとうございました。今、満場一致ということで、宮澤一雄委員に安曇野市消防委員会委員長をお願いいたします。それでは、ごあいさつをお願いします。

宮澤委員長：市のほうから諮問が8項目挙がっておりますが、それも25年度で一切クリアになりました。今後、新たな諮問が入ってきましたら、ここにいる委員の皆さんでしっかりと丁寧に議論をいたしまして、回答をしていくつもりでございます。また、危機管理課の担当職員のご指導をいただきながら、しっかりとやっていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(拍手)

白澤課長：ありがとうございました。ここで、宮澤市長が所用のために大変申し訳ございませんが、退席をさせていただきますのでよろしく申し上げます。

宮澤市長：またお世話になります。よろしく申し上げます。

(市長退席)

白澤課長：それでは、続きまして、職務代理者の選出ということでございますが、これにつきましては、委員長が条例第5条第3項におきまして委員長が指名した委員ということになっておりますので、委員長のほうより指名をお願いいたします。

宮澤委員長：それでは、私の指名をお願いいたします。職務代理者に三郷の鈴木委員さんを推薦いたしますが、いかがでしょうか。

(拍手)

白澤課長：それでは、委員長、議長のもとに議事のほうの進行をお願いします。

宮澤委員長：それでは、鈴木委員より一言ご挨拶がございます。

鈴木委員：ただいま、ご指名をいただきました、鈴木でございます。微力ではございますが、皆さま方の多大なるご協力ご支援をいただきまして、この職務を全うしていきたい、という考えでございますので、どうかよろしく申し上げます。

(拍手)

宮澤委員長：不慣れな議長になろうかとは思いますが、どうか皆さまのお力でスムーズな進行ができればと思っております。それでは、会議に移らせていただきます。現在までの会議内容及び決定事項の概要について事務局から説明があります。

二木係長より、現在までの会議内容及び決定事項の概要について説明を行った。

宮澤委員長：ただいま説明がありました。このことについて、質問等ございましたら、挙手のうえ発言をしてください。意見等どうぞ。

中谷委員：分団長の選出方法についてというところですが、最後のところに、来年度から順次進めていき、将来は2年任期とする方向で進めてほしいということで、継続中ということになっておりますけれども、私が副団長の時に同じ内容で検討をしていたと認識しております。その後、何か進展があったか

どうか、どういう方法で進めているのか、わかれば教えていただければと思います。

宮澤委員長：そのことについて、担当者からお願いします。

二木係長：はい。実際のところを言いますと、ブロックごとで統一ができていない状況です。ただ、今後は諮問にあるとおり、やはり正副団長の任期が2年です。分団長の任期も同じように2年として、ある程度半数は切り替えの時期がずれるというかたちで、それも含めて協議を今後していきたいと思います。なお、いつまでも協議と言いましても先ほどお話ししたように、28年度からは新しいものにしたいと思っております。今後2年間のうちでその方向を出したいと思います。

中谷委員：以前私は女性消防隊の担当だった時期がありまして、そのときに女性消防隊から、会議をやる場所を毎回借りなければいけないというようなものがあるんですが、その前に、広報車、今はバンを使っていますね。それがハンドルが重いか言っています、軽自動車でもいいので、広報ができるスピーカーのついたものが準備できればというようなことを強く言われてました。そこらへんの検討をしていただければと思います。

二木係長：女性消防隊の専用詰所・車両関係ですけれども、まずは車両ですが、実際使用している車両が日産のADバンでして、オートマチック車です。パワステですけれども、やはりバンなので非常に乗り味荒いと思います。よって女性消防隊では、そういったバンよりも軽の箱バンが運転しやすいかと思っておりますので、今後、参考にさせていただきたいかと思っております。なお、詰所ですけれども、前から言われています。その都度その都度会議の場所の確保等に困るということで、今現在、建設整備しております防災広場の管理棟のなかに会議室を設けます。その会議室は、女性消防隊に優先して使っていただくということで、既に女性消防隊長にもご説明をさせていただいております。機械器具等ですけれども、今後、女性消防隊と協議しながら対応していきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

宮澤委員長：はい。それでは、ほかに質問等ありましたら・・・はい、無ければ次にいきます。今後のスケジュールについてですが、事務局から説明をお願いします。

二木係長：はい。今後の進め方ですけれども、今年度の消防委員は本日を含めて計4回の開催を予定しています。昨年までは6回でした。6回だったという理由は、諮問があったためです。今回は一通り諮問が終わりましたので4回の開催を予定しております。なお、開催日ですが、本日の4月、8月、12月、3月と予定しておりますのでお願いたします。今日は開始時刻を6時といたしましたけれども、今後は6時30分に堀金支所で開催をしたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。今後の進め方としましては、消防委員の皆さまに先ほどご説明しました、消防委員会から市長に答申いただいた8項目の進捗状況の確認と、現役消防団分団長以上の幹部、正副団長、分団長ですけれども、この方たちと意見交換をしていただきまして、消防団員の服務待遇等の関することについて、行政に建議いただきたいと考えております。その他、年間スケジュールとしましては、消防団の事業計画ですが、6月15日市のポンプ操法大会、12月25日年末警戒の激励式、1月18日消防団の出初式、こちらのほうへご来賓としてご臨席を賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。他に穂高地域の選出の消防委員様におかれましては、11月末に12分団1部の消防車両の更新式を安曇野建設事務所の横の駐車場で予定しておりますので、こちらのほうにもお願いたします。それから、本日は任期改選に伴う第1回の会議日でありまますので、事務局のほうから消防委員の皆さまにお諮りしたい事項がございます。

ます。まず1つ目ですけれども、これまで慣例により市のポンプ操法大会の審査長を消防委員長にお願いをしておりましたけれども、審査員は松本広域消防局の職員の方々です。より審査の判定のすり合わせのしやすさを考えますと、審査長は消防局長、消防局長がご都合が悪ければ警防課長ということでお聞きしているんですが、消防局長にお願いしたほうがよろしいかという考えもあります。これがまず1点です。次に2つ目ですけれども、消防委員の皆さまが選出地域内において、例えば豊科地域内で建物火災がありましたら、松田委員さん小穴委員さんが、これまでですと現場に駆けつけてきていただいて、あとは閉会式の時に慰労の言葉をかけていただいておりますけれども、実際のところ消防委員の皆さまが現場に赴く際は、消防団員と違いまして、途中で事故があった場合、何の救済される補償もございません。よって、私どものほうとしましては、消防委員の皆さまの負担軽減と安全のことを考慮しまして、こちらの慣例のほうの見直しもお願いしたいと思っております。

宮澤委員長：はい、ありがとうございます。今までで何か質問がございましたら。・・・それでは無かったら、審査長の件について、何かご意見がありましたら。消防委員長ではなく、消防局のほうから審査長をお願いしたいということで、ご意見がございましたらお願いします。

中谷委員：安曇野市はそういう形をとるという案ですが、松本市、大町市、塩尻市はどういう形をとっていますか？

白澤課長：松本市は、このような消防委員会というのはございませんが、防災会議がございまして、そのなかの専門委員会ということで、その消防団の関係を建議する組織がございます。塩尻市・大町市は確認ができていませんが、消防委員会は関与していないという状況だと思います。

二木係長：市のポンプ操法大会が6月15日ですので、消防局のほうに審査と、場合によっては審査長のほうもお願いしたいという依頼を5月下旬には出したいものですから、できましたらこの件だけは、この場でお決めいただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

宮澤委員長：このことについて、反対意見の方、ありますか？・・・それでは、無ければ、審査長は消防局のほうから出してもらうということによろしいですか。はい。では、それでお願ひします。

二木係長：はい。ありがとうございます。

宮澤委員長：2番目の火災出動の件ですけれども、地元の火災は消防委員さんがいて、閉会式の挨拶をしてもらうということで、それも行く途中、危険があってはいけないということで、事務局としてはなるべくだったら、やめるという意見ですね。

丸山委員：消防委員が急いで行く必要はないと思っております。赤い法被を預かっているという立場で、しかもヘルメットまで支給されているということを鑑みれば、急いで行く必要はないですけれども、やはり地元の火事ともなれば、そこへ行って挨拶するしないは別として、従来どおりに顔を連ねるのは私は悪くはないと思っております。必ず行けという縛りは無しにして、行ける範囲であればいいのではないかと、というのが私の意見です。

白澤課長：組織改編に伴いまして、現在、地域担当課長兼務の支所長は火災現場には出向かないというように決定をされましたので、ご報告申し上げます。

宮澤委員長：そういうことでしたら、なおさら出席したほうがいいのか、丸山さん。

丸山委員：そうですね。

宮澤委員長：はい。・・・ほかにございますか。それでは、今までどおりということで決定ということでお願ひします。

二木係長：では、決定ということで、今後もできる範囲といたしますか、可能な範囲で急いで行くのではなくて安全に留意していただきますようお願いいたします。現在、火災の発生したことを知るのが、消防局からのメールと、あと防災無線の戸別受信機なり屋外スピーカーからです。現在のところ消防局から配信される火災情報のメールを消防委員の方にも実際のところ登録いただいで送っている方もいらっしゃいます。メールは、消防団員と同じ内容で具体的にどこの地番で目標物、具体的な固有名詞が入ったもので送らせていただいています。ただ、消防局で今年の2月に司令システムを新しく更新しまして、その時にも担当の方から言われていることですが、個人情報ということで、アナログからデジタルで無線等傍受できでないようにしているところもありまして、できましたら、消防委員の方は一般の消防局のホームページでサイトで接続できる災害情報のお知らせ、具体的に言いますと、例えばここでしたら、豊科4340番地で建物火災と出ますが、一般の方だと、豊科成相で具体的な番地が出てきません。そういったもので今後、登録をしていただきたいと思えます。ですので、より詳しい番地と目標物が出ないものになりますけれども、それでご了解いただけるかどうか、これも併せてお願いいたします。

宮澤委員長：はい、ありがとうございます。急いで行くのではないので、情報を集めてから現場へ行くということでどうでしょうか。あまり急いで行っても、何もすることがないということで、閉会式に間に合う程度に、その30分くらい前に現場到着ということで、そのような認識でお願いをいたします。それでは、この件については終わります。

等々力委員：すみません、初めてのことなので、例えば穂高地域の場合ですね、2名いて、有明のほうだったら有明地籍のひとが行くとか、それとも2名行くのか、という訳ですが、有明のほうですと私はわかりません。

金盛委員：とりあえず今、穂高は、有明方面と穂高方面で分けて担当しています。個人的には番地があったほうが非常に助かります。あれのおかげで正確なところに辿り着けますので。それが無くなって大丈夫だよってというひとが過半数いれば私も諦めますが、皆さんいかがでしょうか。

中谷委員：消防委員に番地を入れたメールを配信できない理由がありますか？

白澤課長：個人情報です。個人情報保護法というものがございまして、その辺のところ非常に判断が難しい状況です。

宮澤委員長：1年か2年、この提案した案でやってみて、ちょっと不都合があったら、また協議をするということでいかがでしょうか。・・・それでは、今の件はこれで終わりとしします。その他について事務局から説明したいことがありますしたら、どうぞ。

二木係長：その他は特に事務局のほうからはございませんけれども、丸山消防委員さんからひとつ皆さまにお願いがあるということなので、これから資料の配布をさせていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

(事務局にて資料を配布)

丸山委員より、配布した資料をもとに、東日本大震災時に被災地にて炊き出しを実施した有志の活動内容等について説明を行った。

宮澤委員長：それでは、全ての協議が終了しました。それでは、これをもちまして、平成26年度第1回消防委員会を閉会します。

以上